

24/25

■ ■ ■ ■ ■ : スターリッジトレイル

羅漢~河山/約3.3km

府谷東谷河山

リバティフィールド

○ : 駐車スペース候補

■ ■ ■ ■ ■ : リバティフィールド候補トレイル

■ ■ ■ ■ ■ 5/4中級編実走コース (調査+ミニツアー)

美川支所...搬送...正下峠北口~正下尾根~

府谷山代街道~東谷尾根~添谷林道~美川支所

やましろMTBツアーズ2022 春企画/雑感レポート

2022年大型連休は、ほぼ好天に恵まれ、またショップや有志の協力もあり、事前調査、道普請、そして当日運営と、レベルの異なる複数の実施内容で、今後の展開に向けた様々なデータが得られた。

その実施内容等は以下の通り。

4/24 日: やましろ MTB ラリー / 出走9名

4/29 金: 臨時調査 / 正下峠から助光

5/01 日: 臨時調査 / 瀬戸から正下峠の尾根

5/02 月: 臨時調査 / 府谷山代街道の間道

5/04 水: 中級編 / 出走13名

5/05 木: ミニツアー / 出走2名

「やましろMTBラリー」は、九州レイドシリーズの一環で、告知が遅れたものの常連の猛者が集まり、中には埼玉県から遠征参加も。旧街道を織り交ぜたコンパクトコースは高評価だった。

「初級編」や「ミニツアー」は、逆に対象者への情報提供の難しさが露呈。その空き時間を臨時調査に充てたところ、想定を超える発見が。また、地元のご老人とも意見交換が出来、可能性と同時に迫る時間も痛感。



02/ 臨調で正下峠南のピークに続く杉道を確認



19/ 中級編の締めは河内神社の階段で!



23/ ミニツアーで山代街道早尾坂を下る



05/臨時調査で確認した盛り土をした尾根道や
緩やかなカーブは、古の山上集落の営みを感じる

ると流石に無理で、これも試行できて良かった。最後のシングルトラックでは除去困難な倒木が数箇所あり不満の声も。その先は林道の付け替えで不連続となった作業道へ進むが、そこは最近試走したばかりで、取って何とせず、障害物区間となっていて、ある意味楽しい。

全体を通しバラエティに富んだ路面と、参加者のスキルの違いで、様々な意見が聞けた。さらに青葉の繁る夏季にも走りたいとの要望も！

認知ライダー対象のそう言った“パイロット企画”を、2016年より続けているが、強行開催した面もある。コロナ禍で二年停滞した以上に、今回を逃し一年先送りになると、益々時間との戦いが厳しくなる。それは、自分の年齢もそうだが、ローカル情報を知るお年寄りが激減するから。

また、チラシ等に「★主催:やましろ杣道研究会準備室」、「☆企画協力:Thinkサイクリング山口」とあるように、これまでと異なる狙いもある。その説明を、出走サインを直筆で貰った後に行った。



11/成君寺山南西尾根のデポ地に移動し
出走準備をするが、もう少し草刈りが必要？

国も地方も自転車企画に関して曖昧で偏った情報を発信している形になっており、自転車愛好者が求めるピンポイント情報はどこを探しても見当たらない。それは、走り出したら自己責任という、サイクリング本来の自主性を遮るように法律が曖昧だから？

確かに多様なニーズに応える自転車ソフト自体が少ないと言う日本の実情もあるが、道路の自由使用の範囲で実施可能な自転車ソフトを増やし、自転車市民権獲得を目指す「ホワイトサイクリング」という考えのもと、これまでの経験を総動員して地域貢献型サイクリングクラブを立ち上げると同時に、MTBによる山道走行や、ツーリングコンペティションなど、グレーゾーンに分類される玉石混淆自転車ソフトにも



17/本日のシングルトラックの終点
除去困難な倒木もあったがかなり満足！！

別枠で扱う「やましろサザンセト・サイクルフレンドクラブ」や「やましろ杣道研究会」の立ち上げも模索中。特に今回の春企画のエリアを含む宇佐川と本郷川に挟まれた山塊には、予想以上の杣道の痕跡があり、エステイブルートも設定しやすく、さらに府谷の見渡せる山並みだけでも完結が可能で、構想25年の「リバティフィールド」の具体化適地と考えている。

しかしサイクリングの法的根拠が曖昧な日本の実情に加え、都市と田舎の自転車走行空間格差も見えない形で存在し、利用者と生活者がウインウインの関係になれるよう企画を熟成させたいのだが・・・。

PS. 私の悪い癖なのだが、自転車遊び目線で考える「ルーデンスサイクリング」という造語を思い付いてしまった！？

20220512 文責:とれとれ岩柳企画デスク/石丸英明

「中級編」は、企画当初からショップ協力を前提に日程を決め集客をお願いし、定員に迫る13名が出走。晴天に恵まれた美川支所駐車場で、13人分のMTBを4台の車に積み込み、参加者の顔ぶれを見て予定コースを延長した成君寺山南西尾根に位置する、前日に藪払いをしたデポ地に移動。ある程度の人数だと出走準備にも時間がかかり、8時45分に集合地を出てから9時40分過ぎに常原氏を先頭に走り始める。彼は調査や道普請や試走を行っていてコースを熟知している？最後尾は私。走行と集合を繰り返す尺取り虫方式で、人数確認をしながら進む。その走行方式の限界が15名。

また、無人エイドを事前に設置。7～8名なら食材を携行できるが、10名を越え



08/府谷山代街道の間道調査後に茶摘みをする
92歳のお婆さんと情報交換する脇に菫の花が！

「Thinkサイクリング山口」と「ホワイトサイクリング」

「サイクル県やまぐち」のロゴがチラシにはあり、そのホームページでも紹介されている。しかし行政の自転車企画には限界や矛盾があり、それを補完する新たな組織として立ち上げたのが“Thinkサイクリング山口”。

行政の「限界と矛盾」とは、コースマップを作成し、矢印をペイントしても、道路の自由使用というソロサイクリングに委ねるしなない限界があるのに、初心者も対象にした集客目的のイベントサイクリングでは目的外使用を強行している矛盾。



15/集合前にドリンク&補給食とテーブルを
茂みに隠し置いた無人エイドも好評でした！

「やましろ杣道研究会」と「曖昧なサイクリング」

玉石混淆自転車ソフトにこそ、自転車の多様性がある訳で、それを別枠で扱う「やましろサザンセト・サイクルフレンドクラブ」や「やましろ杣道研究会」の立ち上げも模索中。

特に今回の春企画のエリアを含む宇佐川と本郷川に挟まれた山塊には、予想以上の杣道の痕跡があり、エステイブルートも設定しやすく、さらに府谷の見渡せる山並みだけでも完結が可能



22/ラリー用に薄い尾根の藪を払った即席道
初心者でも楽しく下れるが、探し出すまで一苦労！